GS YUASA
Creating the Future of Energy

ＧＳユアサの中長期戦略について
（2025年3月期 業績説明資料）

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション
（証券コード：6674）

2024年8月23日

目次

会社概要

1．会社概要 …… 4
2．事業領域 …… 5
3．グローバル展開 …… 6

Vision 2035（長期ビジョン）

1．2人の創業者 …… 8
2．ＧＳユアサの歩み …… 9
3．当社を取り巻く事業環境 …… 10
4．Vision 2035 …… 11
- 事業の「革新と成長」 11
- 「革新と成長」のポイント 12
- 研究開発ロードマップ 13
- 事業の成長ストーリー 14

5．GYカーボンニュートラル2050 …… 15

第六次中期経営計画（2023～2025年度）

1．第六次中期経営計画 方針と施策 …… 17
2．経営目標 …… 18
3．セグメント別業績 …… 19
- 自動車電池（国内） 20
- 自動車電池（海外） 21
- 自動車電池 22
- 産業電池電源 24
- 車載用リチウムイオン電池 27
- 特殊電池およびその他 30

4．株主還元 …… 31
5．サステナビリティへの取り組み（マテリアリティ） 32

GS YUASA
Creating the Future of Energy

会社概要

1．会社概要

- **会社名**　**株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション**
  ※純粋持株会社
- **設立**　**2004年4月1日**
  ※日本電池（1917年設立）とユアサコーポレーション（1918年設立）が経営統合
- **本社**　**京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地**
- **資本金**　**528億円**
- **連結売上高**（2024年3月期）　**5,629億円**
- **連結従業員数**（2024年3月末）　**12,892名**
- **上場市場**　**東京証券取引所 プライム市場（証券コード：6674）**

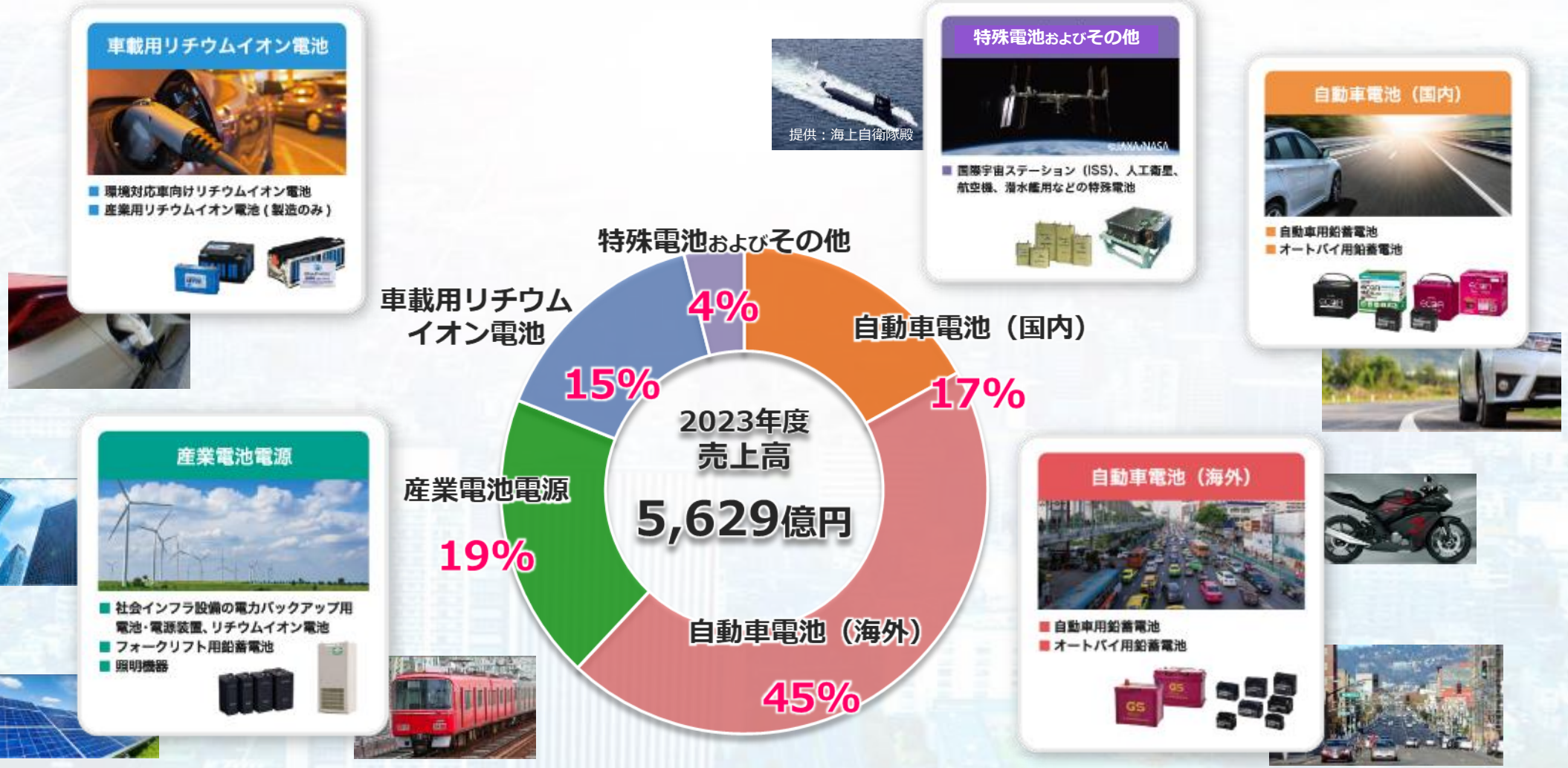
代表取締役 取締役社長 **阿部 貴志**

日本電池 創業者 島津源蔵が
アメリカから輸入した電気自動車
「デトロイト号」

© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

2．事業領域

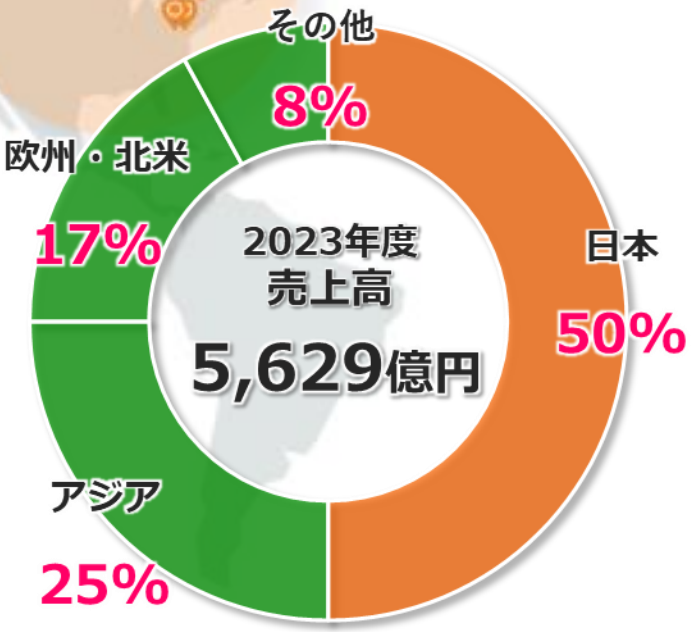
自動車をはじめ5つのセグメントで事業を展開しています



© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

3．グローバル展開

東南アジアを中心に19ヵ国37拠点で事業を展開しています



(注) 2024年3月時点

© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

GS YUASA
Creating the Future of Energy

Vision 2035（長期ビジョン）

1．2人の創業者

日本電池㈱創業者
島津 源蔵

GS 日本電池

科学の申し子と呼ばれ、
さまざまな発明品を
生み出し、日本の十大
発明家のひとりとして
選ばれた**発明の人**

湯淺電池製造㈱創業者
湯淺 七左衛門

YUASA
ユアサコーポレーション

優秀な頭脳と決断力で
湯淺家に新風を吹き込み、
事業拡大を果たし、
企業の近代化を推し進めた
事業の人

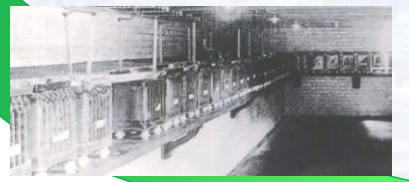
© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

2．ＧＳユアサの歩み

ＧＳ（日本電池）

高品質な製品
開発により、
社会に貢献する
発明家精神

日本電池㈱創業者
島津 源蔵



電力の安定供給、社会インフラの発展に貢献

1900年代
予備電源用大容量蓄電池を製造

時代に先駆けて
新規事業を
開拓する
チャレンジ精神

湯淺蓄電池製造㈱創業者
湯淺 七左衛門

自動車産業の発展に貢献

1910年代
自動車用鉛蓄電池の製造開始

YUASA（ユアサ コーポレーション）

2004 経営統合

EVの新時代を切り拓く

2010年代
三菱向けに
PHEV用リチウムイオン電池を供給

三菱自動車「エクリプスクロスPHEV」

Energy_Next LITHIUM ENERGY JAPAN

2007年
EV・PHEV用電池の製造販売を行う
リチウムエナジー ジャパンを設立

日系自動車メーカーの電動化に貢献

2010年代
ホンダ向けに
HEV用リチウムイオン電池を供給

ホンダ「FIT HYBRID」

Blue Energy

2009年
HEV用電池の製造販売を行う
ブルーエナジーを設立

2020年代
トヨタ向けに
HEV用リチウムイオン電池を供給

トヨタ自動車「ハリアー」

クリーンエネルギーの普及に貢献

2000年代
再生可能エネルギーの
蓄電システムを開発

脱炭素社会の実現に貢献

2020年代
風力発電向けの
世界最大規模の
蓄電池設備受注

次の100年に向けて

「深海」から「宇宙」まで極限環境での安全を支える

航空機の発展を支える

2000年代
米ボーイング787向け
リチウムイオン電池システムを受注

2010年代
国際宇宙ステーションに
リチウムイオン電池を搭載

2010年代
日本初の潜水艦用
リチウムイオン電池を量産

© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

3．当社を取り巻く事業環境

GS YUASAを取り巻く周辺環境

モビリティ

・ゼロエミッションに向けて電動化が加速
・自動運転のレベルが進展
・所有から利用への加速（シェアリングなど）

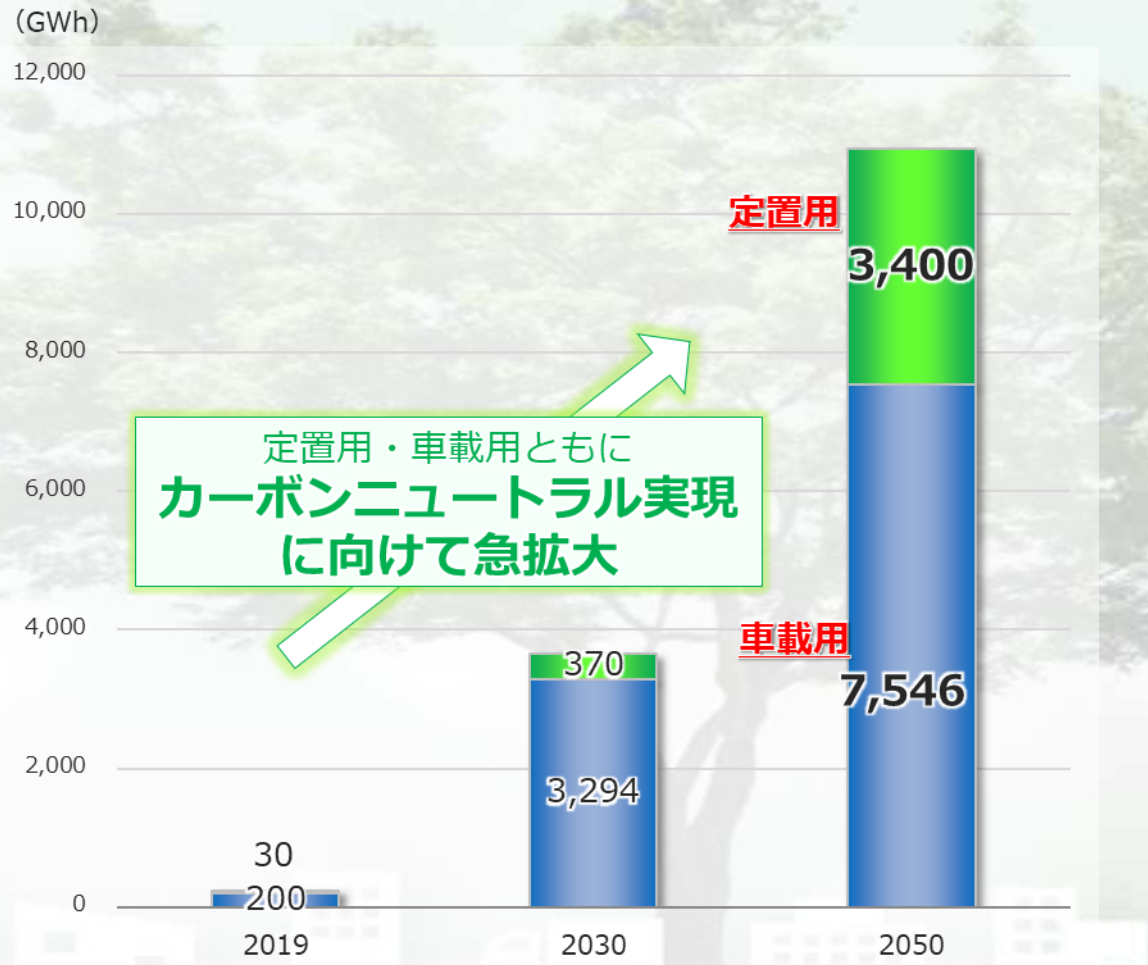
社会インフラ

・再生可能エネルギーの導入拡大に伴い、変動抑制や需給調整のための蓄電池の重要性も拡大。エネルギーマネジメントへの要求拡大
・電力、情報、通信インフラなどのバックアップの重要性が拡大

特殊電池

・宇宙利用の拡大
・海洋資源探索の拡大

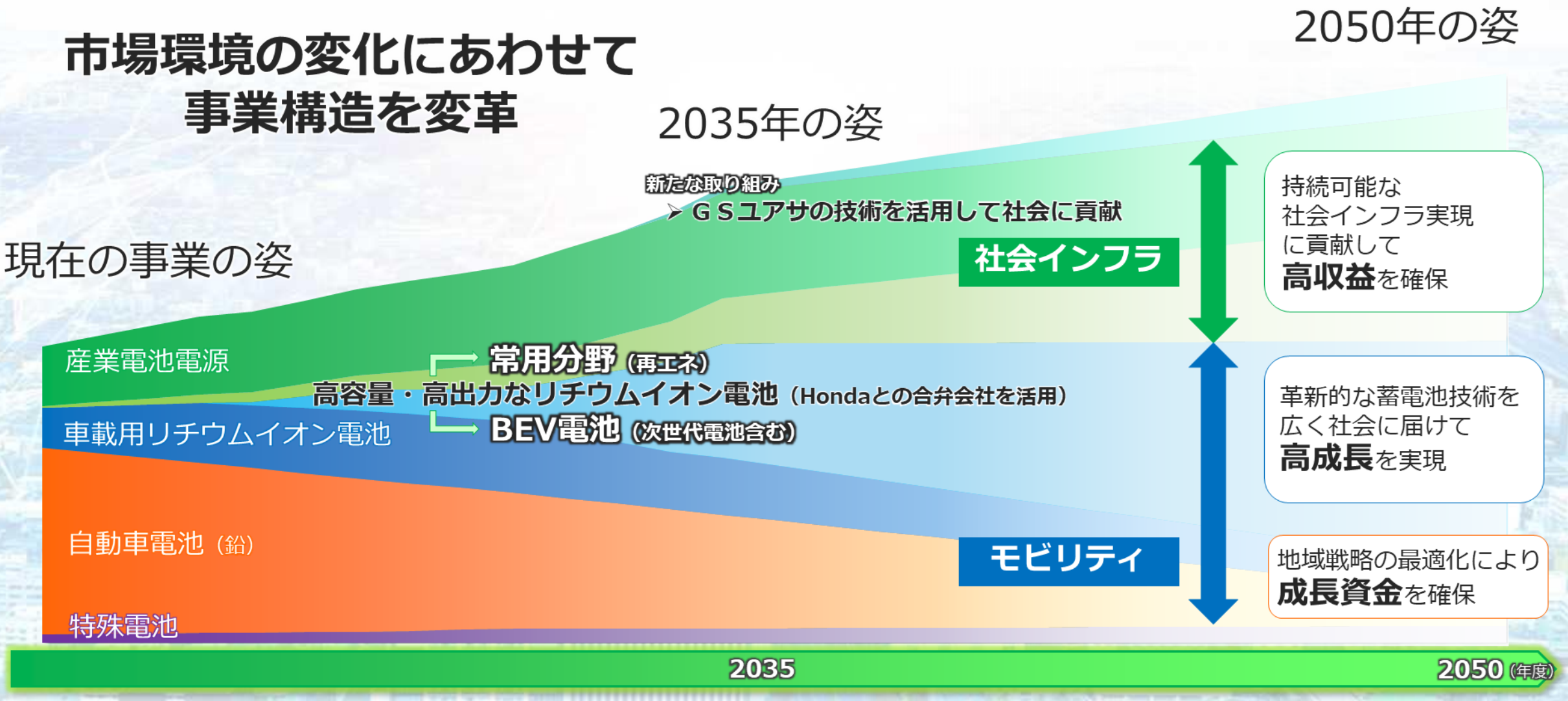
グローバルでの蓄電池導入予想



出典：IRENA Global Renewables outlook 2020
「Energy Transformation 2050」より当社作成

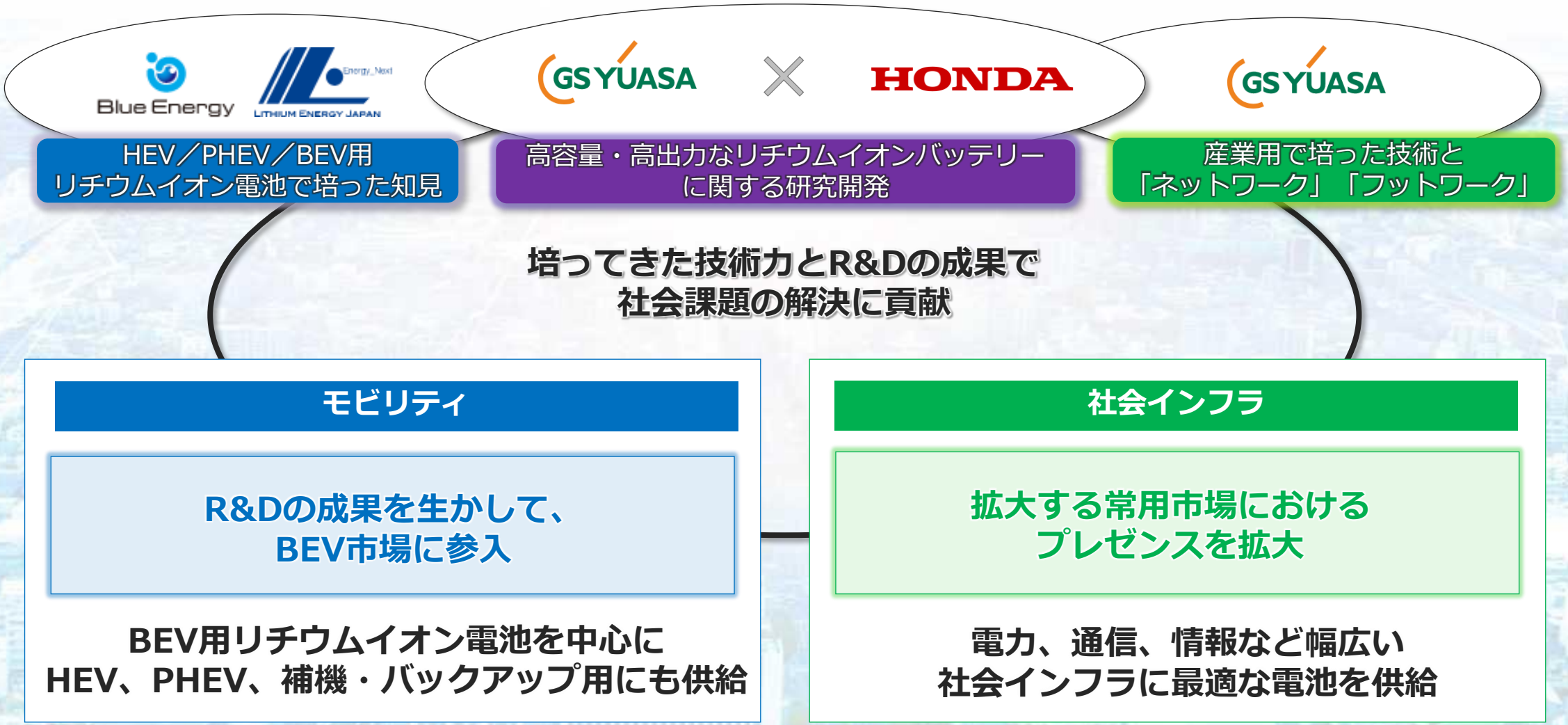
© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

4．Vision 2035 の達成に向けて（事業の「革新と成長」）



© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

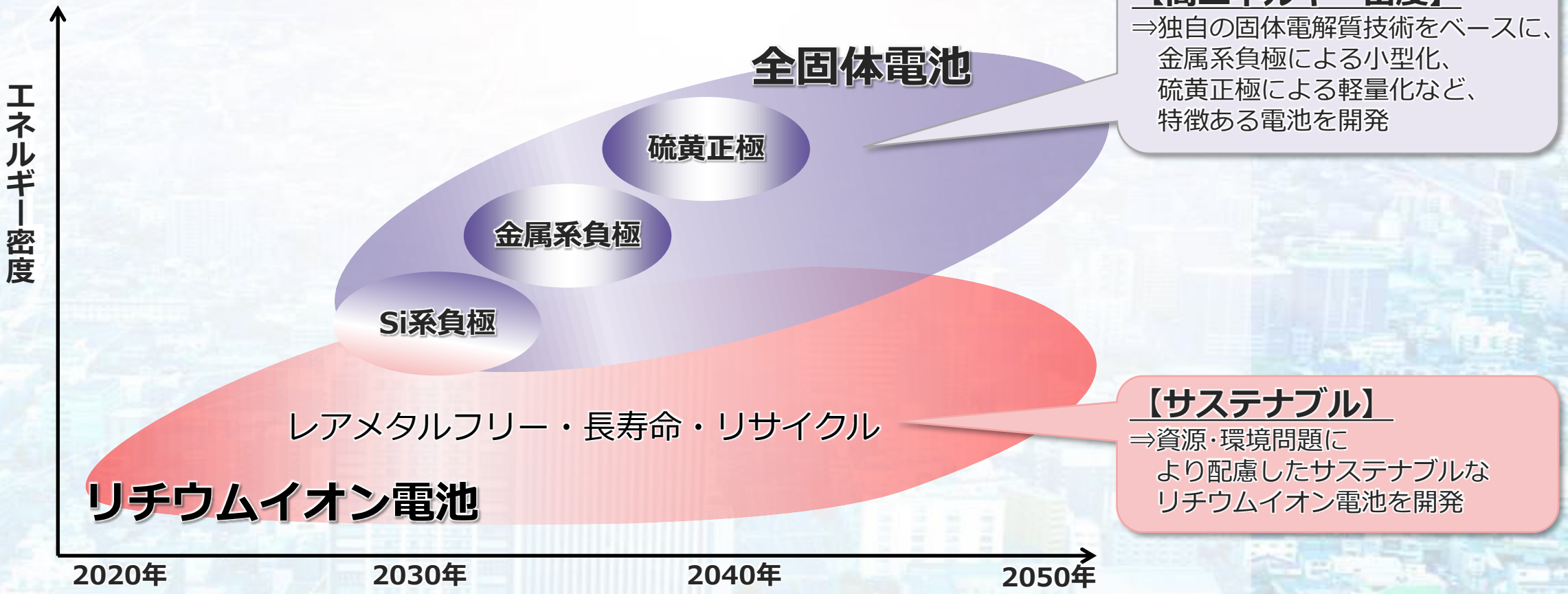
4．Vision 2035 の達成に向けて（「革新と成長」のポイント）



© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

4．Vision 2035 の達成に向けて（研究開発ロードマップ）

次世代電池の研究開発・実用化により カーボンニュートラル実現に貢献します

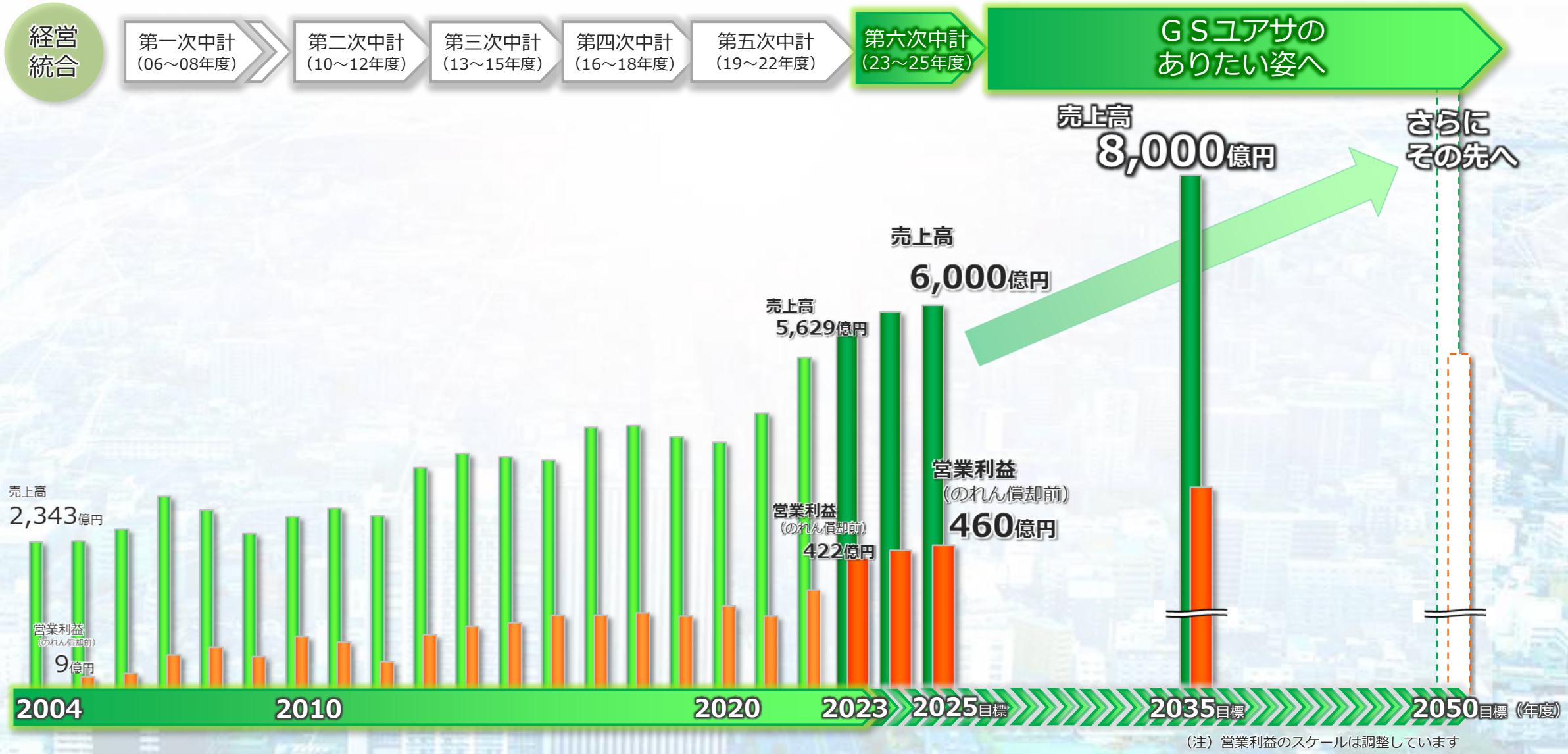


【高エネルギー密度】
⇒独自の固体電解質技術をベースに、
金属系負極による小型化、
硫黄正極による軽量化など、
特徴ある電池を開発

【サステナブル】
⇒資源･環境問題に
より配慮したサステナブルな
リチウムイオン電池を開発

© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

4．Vision 2035 の達成に向けて（事業の成長ストーリー）



（注）営業利益のスケールは調整しています

© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

5．GYカーボンニュートラル2050

カーボンニュートラルの実現と環境配慮製品によるCO_2削減で 地球環境と社会に貢献していきます

省エネルギー対策の推進

①省エネルギー対応設備の導入
②効率的な充電処方の展開、新規開発

再生可能エネルギー発電の推進

①国内外の全事業所における導入の最大化
②自社製品（ESSなど）の導入や実証実験の実施

再生可能エネルギーの調達

①再生可能エネルギー由来の電力購入
②再エネ証書の調達

© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

GS YUASA
Creating the Future of Energy

第六次中期経営計画（2023～2025年度）

1．第六次中期経営計画 方針と施策

第六次中期経営計画 方針

Vision 2035 で描くありたい姿実現に向けた変革のための土台作りの期間と位置づけ、
事業構造変革に向けた諸施策を実行します。

実行施策

①BEV用電池開発

施策

- Hondaとの合弁会社を活用した高容量・高出力なリチウムイオン電池開発
- モビリティ・社会インフラビジネス拡大のためのBEV用電池生産／供給体制整備

②既存事業の収益力強化

施策

- 徹底した付加価値創出と収益性改善
- 国内産業電池電源事業における圧倒的な優位性による利益の最大化
- 中国事業見直しを含む地域戦略の転換、主要拠点へのリソース集中と利益の最大化

③DX／新規事業

施策

- 事業構造転換を可能にするDX推進
- 社会課題解決に貢献する新規事業創出

© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

2．経営目標

第六次中期経営目標（2025年度 目標）

		2023 年度 実績	2024 年度 予想	第六次中計 2025 年度目標		増減 ((B)-(A))
				2023.4当初目標 (A)	2024.7修正目標 (B)	
売上高		5,629 億円	5,900 億円	6,100 億円以上	**6,000 億円以上**	△100 億円
のれん等償却前営業利益		422 億円	445 億円	410 億円以上	**460 億円以上**	+50 億円
(営業利益率)		7.5 %	7.5 %	6.7 %以上	**7.7 %以上**	+1.0 P
[参考] のれん等償却前営業利益（超インフレ会計適用前）		449 億円	471 億円	-	**486 億円以上**	-
ROE（自己資本利益率）		11.6 %	8 %	8 %以上	**8 %以上**	-
ROIC（投下資本利益率）		13.7 %	12.5 %	10 %以上	**10 %以上**	-
総還元性向		20.6 %	26.5 %	30 %以上	**30 %以上**	-
前提条件	国内鉛建値（万円／t）	37.34 万円／t	37.2 万円／t	34.2 万円／t	**37.2 万円／t**	+3.0 万円／t
	LME（US$／t）	2,121 US$／t	2,200 US$／t	2,000 US$／t	**2,100 US$／t**	+100 US$／t
	為替（円／US$）	145.31 円／US$	145.0 円／US$	140.0 円／US$	**145.0 円／US$**	+5.0 円／US$

（注1）上記指標はのれん等償却前利益（営業利益・当期純利益）に対するものです。
（注2）ROICは、のれん等償却前営業利益（税前）÷投下資本（固定資産（のれん等除く）＋運転資本）で算出。投下資本は期首と期末の平均値です。
（注3）参考の超インフレ会計適用額は23年度と同水準を24年度予想、25年度修正目標の営業利益に計上しています。

中計の見通し

- 自動車電池、産業電池電源を中心に大幅な売価是正が進み、堅調を維持
- 円安の影響もあり鉛価格は高止まりを想定

© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

3．セグメント別業績

（億円）

		2023 年度 実績		2024 年度 予想		第六次中計 2025 年度目標				増減 ((B)-(A))		[参考] 2025 年度修正目標 （超インフレ会計適用前）	
						2023.4当初目標 (A)		2024.7修正目標 (B)					
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:P)	売上高	営業利益 (利益率:%)
自動車電池	国内	940	81 (8.6)	1,000	80 (8.0)	1,000	70 (7.0)	**1,000**	**90 (9.0)**	±0	+20 (+2.0)	**1,000**	**90 (9.0)**
	海外	2,529	151 (6.0)	2,590	165 (6.4)	2,400	170 (7.1)	**2,600**	**170 (6.5)**	+200	±0 (△0.6)	**2,600**	**196 (7.5)**
産業電池電源		1,097	132 (12.0)	1,200	130 (10.8)	1,400	110 (7.9)	**1,200**	**130 (10.8)**	△200	+20 (+2.9)	**1,200**	**130 (10.8)**
車載用リチウムイオン電池		848	26 (3.1)	900	40 (4.4)	1,100	60 (5.5)	**1,000**	**50 (5.0)**	△100	△10 (△0.5)	**1,000**	**50 (5.0)**
特殊電池およびその他		215	32 (14.9)	210	30 (14.3)	200	0 (-)	**200**	**20 (10.0)**	±0	+20 (+10.0)	**200**	**20 (10.0)**
合計		5,629	422 (7.5)	5,900	445 (7.5)	6,100	410 (6.7)	**6,000**	**460 (7.7)**	△100	+50 (+1.0)	**6,000**	**486 (8.1)**

主な利益修正の理由

- 自動車電池・産業電池電源は売価見直しの影響を反映
- 自動車電池（海外）はトルコの超インフレ会計の影響を加味
- 産業電池電源は常用分野で好調な需要環境を加味
- 特殊電池およびその他は管理部門経費の見直しを反映

<前提条件>	2023 年度 実績	2024 年度 予想	2025 年度 当初目標 (A)	2025 年度 修正目標 (B)	増減 ((B)-(A))
国内鉛建値 （万円／t）	37.34	37.2	34.2	**37.2**	+3.0
ＬＭＥ （US$／t）	2,121	2,200	2,000	**2,100**	+100
為替 （円／US$）	145.31	145.00	140.00	**145.00**	+5.00

(注1) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。
(注2) 参考における自動車電池（海外）セグメントの超インフレ会計適用額は23年度と同水準を25年度修正目標の営業利益に計上。

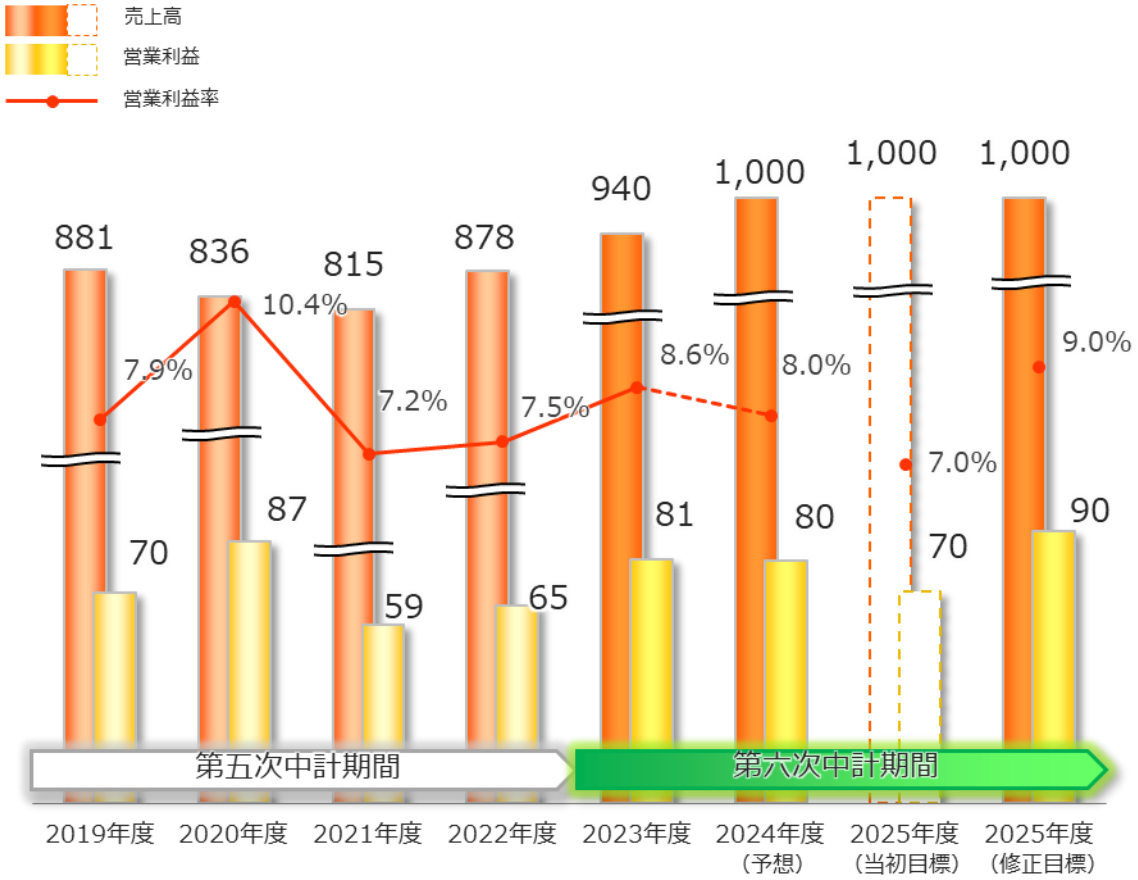
© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

3．セグメント別業績（自動車電池（国内））

自動車電池（国内）

売上高・営業利益・利益率

（億円）



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

今後の取り組み

- **[生産]**
  BCPに対応した最適生産・安定供給体制の整備
- **[販売]**
  新車向け・補修向けともに更なる収益力の強化に向けた取り組みの継続

SWOT分析

強み	・新車対応で培われた技術・品質 ・国内No.1シェアのブランド力	弱み	・新車物量の変動による生産影響
機会	・高付加価値製品市場の拡大	脅威	・コモディティ化による価格競争 ・環境対応によるコストアップ

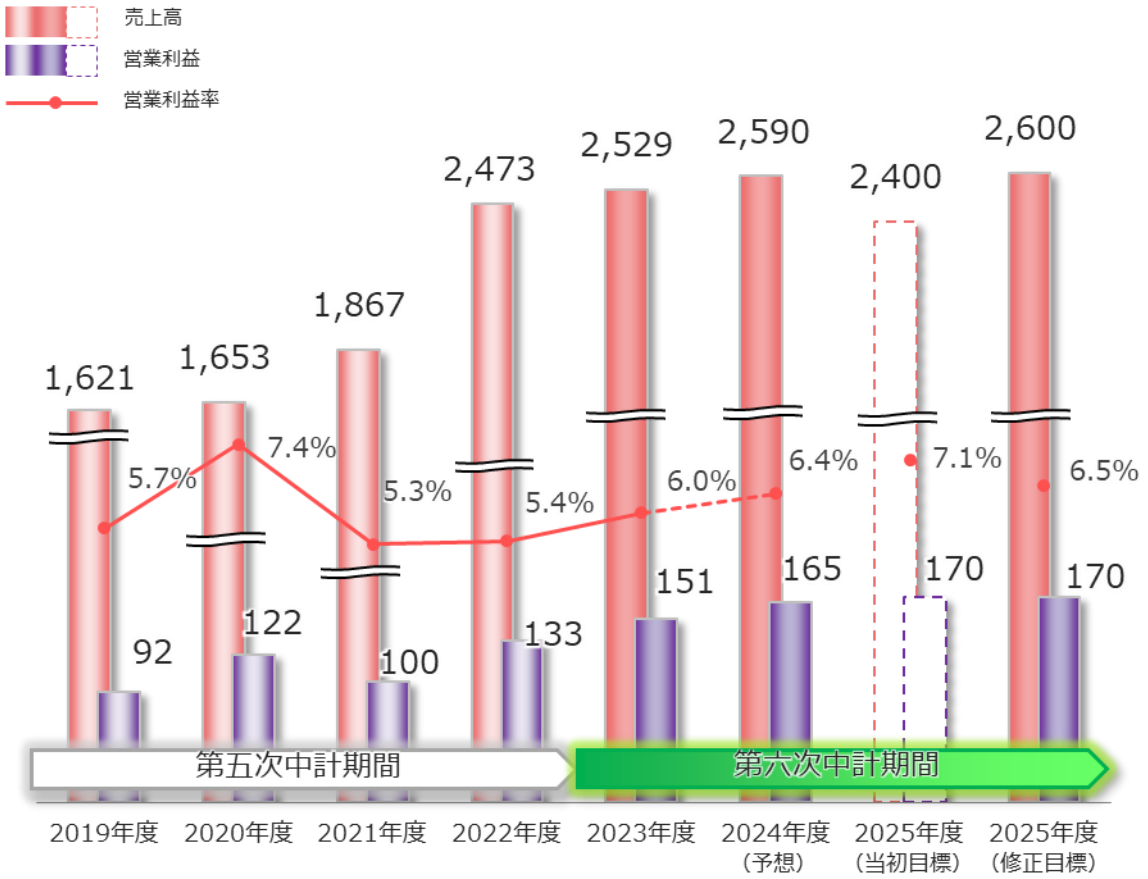
© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

3．セグメント別業績（自動車電池（海外））

自動車電池（海外）

売上高・営業利益・利益率

（億円）



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

今後の取り組み

- **[戦略拠点（東南アジア・欧州・豪州）]**
  リソースの集中による経営基盤の強化と更なる収益性の向上
- **[その他拠点]**
  中国拠点の持分法化に続く、選択と集中に基づいた戦略を推進

SWOT分析

強み	・高い技術と品質 ・アセアンNo.1シェア／ブランド力	弱み	・リソースの分散 ・無拠点エリアでの販売力
機会	・新興国のモータリゼーション ・補機用市場の拡大	脅威	・電動化による始動用の減少

© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

3．セグメント別業績（自動車電池）

自動車電池事業の戦略

欧州地域

トルコ拠点
高付加価値製品を中心とした
商品ミックスを形成し、
トルコリラ安を背景に、
欧州を中心とした周辺地域への
輸出拠点として販売拡大

日本

新車向けビジネスの改善
新車向け適正価格構築による
収益性の向上

**BCPに対応した
最適生産・安定供給体制の整備**
国内生産拠点の整備による
相互補完体制の構築を進める

東南アジア

タイ拠点
自動車用電池の中核拠点として、
ブランド・商品力を生かして
高付加価値製品を拡販

タイ　生産物量　2023年度 500万個／年間 ▷ **600万個／年間体制に向けた整備**

インドネシア拠点
二輪用電池の中核拠点として、
補修・輸出向け電池の拡販強化
による利益率改善を進める

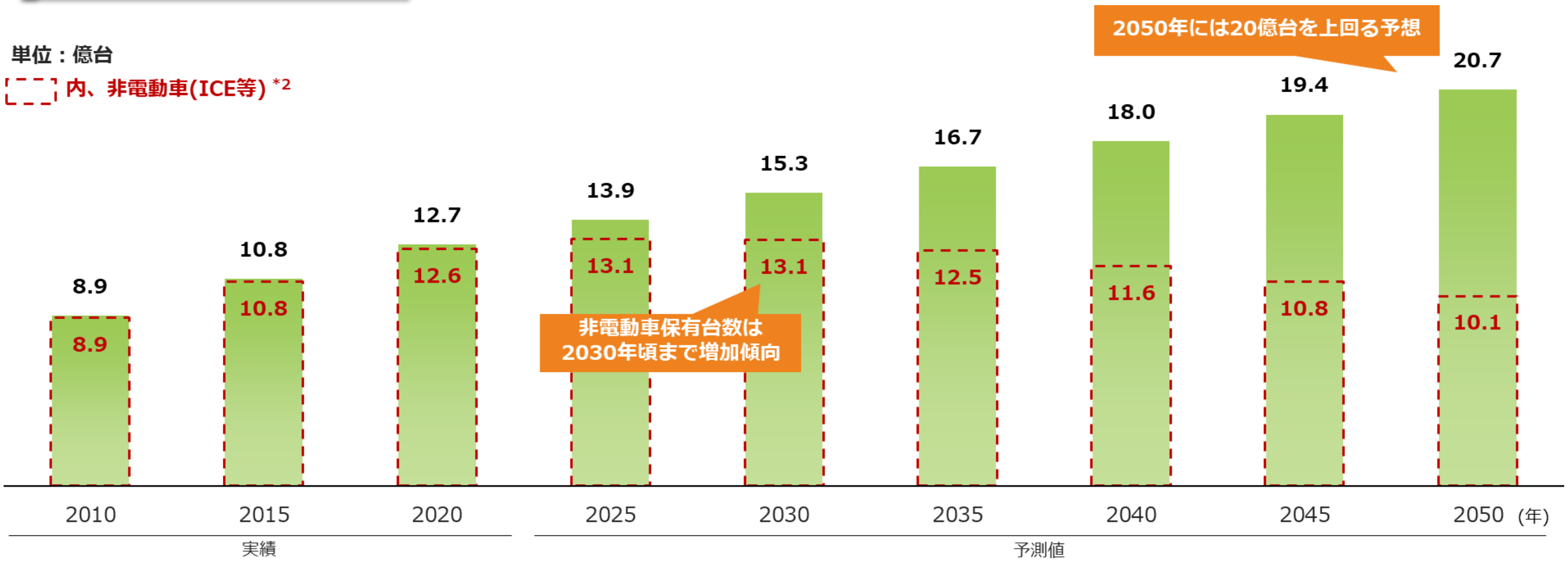
ベトナム拠点
省人化設備導入による
生産性向上と営業体制の見直しに
よる販売拡大

© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

3．セグメント別業績（自動車電池）

自動車電池事業の戦略

優位なポジショニングをもつ鉛蓄電池事業は今後も補修用を中心に安定したCFを創出する見込み



【鉛蓄電池需要】ICE補修用＋電動車の補機用

（注）グラフにおける電動車はHEV、PHEV、BEV含む

出所：Wood mackenzie「No. of Road Vehicles (Car Parc)」(2023年10月10日時点)より当社作成

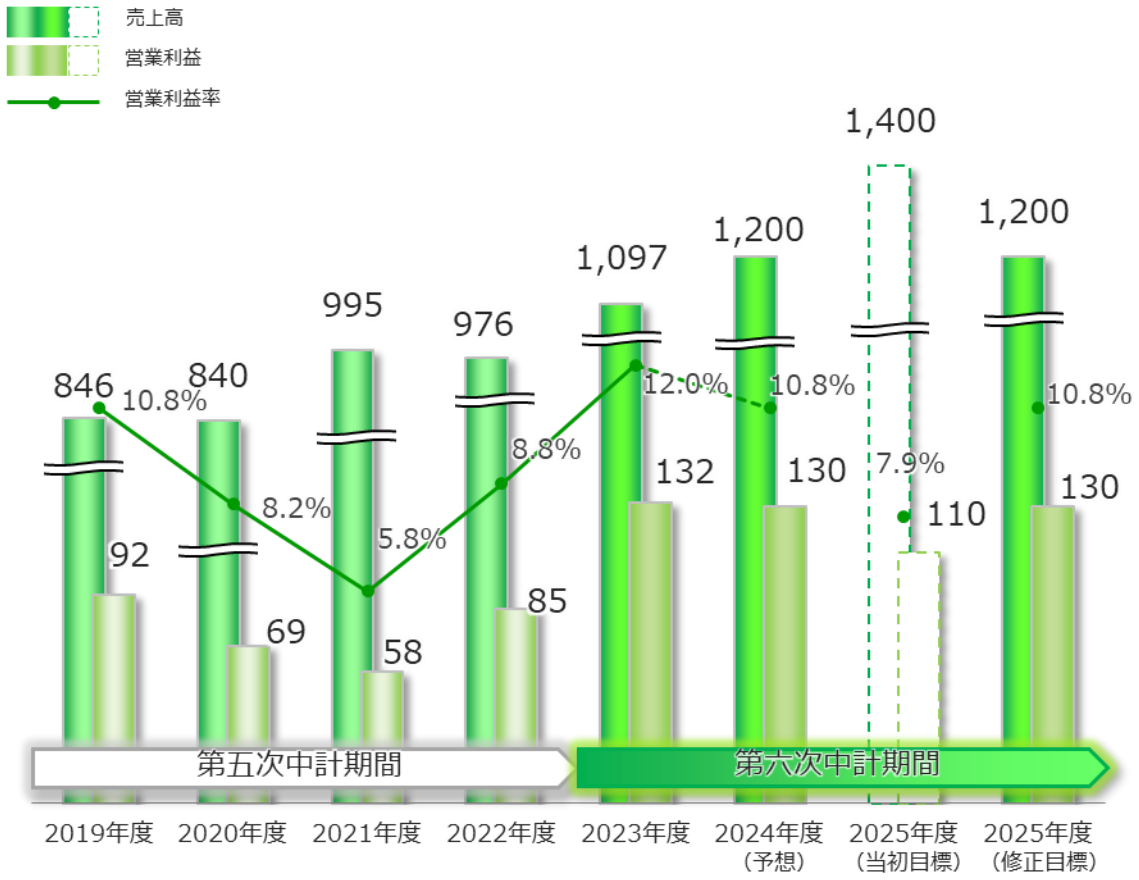
© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

3．セグメント別業績（産業電池電源）

産業電池電源

売上高・営業利益・利益率

（億円）



今後の取り組み

- **[非常用（国内）]**
  原材料価格やインフレ影響の売価反映による収益性の向上
- **[常用（国内）]**
  旺盛な需要に対応するための生産能力の確保とPCS併設型ESSによる販売拡大
- **[フォークリフト用（グローバル）]**
  京都事業所のフォークリフト用新工場の稼働による効率的な生産体制の確立

SWOT分析

強み ・国内で高いプレゼンス	弱み ・海外は低シェア
機会 ・再エネ市場の拡大	脅威 ・再エネ市場での海外競合の進出

(注) 2023年度より、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「特殊電池およびその他」に変更しております。2022年度は、変更後のセグメントにより記載しております。

© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

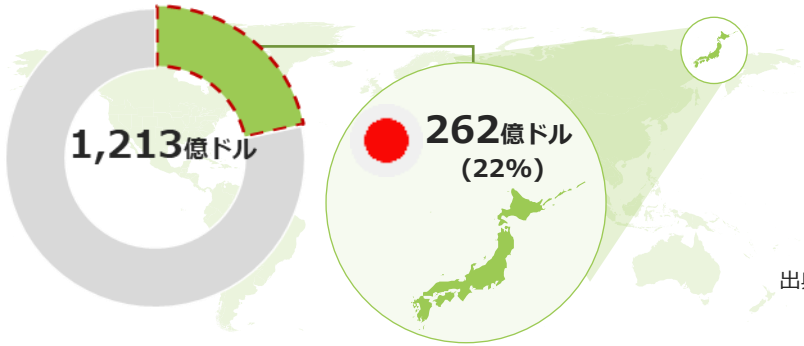
3．セグメント別業績（産業電池電源）

非常用分野の戦略

国土強靭化政策およびIoTの普及によるデータセンター市場規模増加により非常用電池電源需要は更に拡大

社会インフラを支える非常用電池電源領域（イメージ）

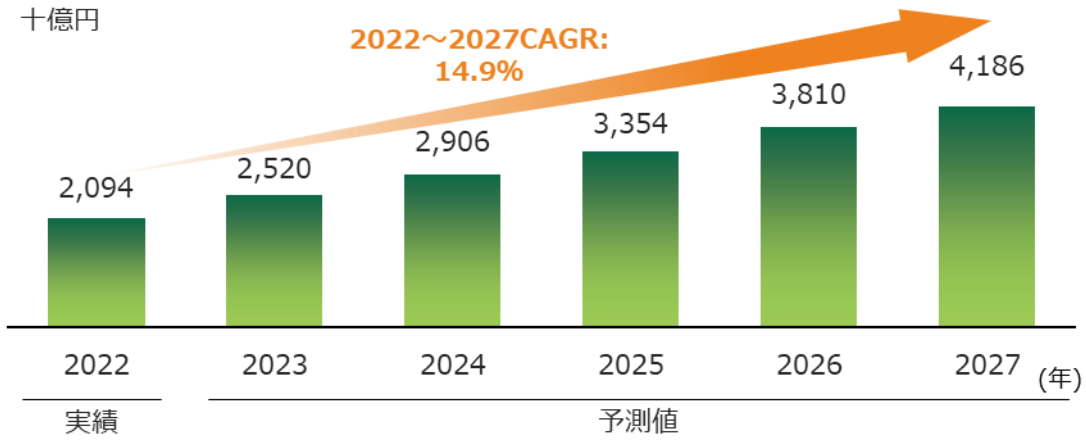
2019年以降に発生した自然災害被害額



出典：内閣府
「令和2年版防災白書」より当社作成

国土強靭化に向けて
非常用電池電源は
更なる需要拡大
を見込む

国内データセンターサービス市場規模



出典：IDC Japan「国内データセンターサービス市場予測、2023年～2027年」より当社作成

© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

3．セグメント別業績（産業電池電源）

常用分野の戦略

弥藤吾蓄電所イメージ
（埼玉県熊谷市）

- 事業主：
  坂東蓄電所1号合同会社
- 稼働　：2025年2月
- 容量　：7.46MWh

2024年度も
常用分野は
引き続き好調

角子原パワーストレージステーション完成イメージ
（大分県大分市）

- 事業主：
  株式会社ニジオ
- 稼働　：2026年度（予定）
- 容量　：50MWh

作成：千代田化工建設株式会社
（Google Map および国土地理院の地図データを使用）

□ 常用向けリチウムイオン電池の生産拡大

旧LEJ（現ＧＳユアサ）の生産能力を2023年度に増強
27年度に稼働するBEV生産能力も需要旺盛な**常用分野に活用**

常用分野（販売物量の拡大）

2023年度
約100万セル ▷ 2024年度
約**130万セル**納入（目標） ▷ 2027年度～
BEV生産能力を活用し
さらに拡大

再エネ向けリチウムイオン電池の開発と拡大

第一世代（LEPS-1）

第二世代（LEPS-2）

世界最大規模の蓄電池設備への納入を皮切りに
拡大する需要に対応し、生産能力も増強

第三世代（27年度～）

Hondaとの研究開発の
成果を活用

拡大する
カーボンニュートラル
需要に対応

世界最大規模の蓄電池設備
（北海道豊富町）への納入

ＥＮＥＯＳより国内最大規模の
電力系統用蓄電池設備を受注

出典：北海道北部電力送電（株）
（https://www.hokubusouden.com/progress/869/#contents）

ＥＮＥＯＳ室蘭事業所
（建設段階）

大阪国際石油精製 千葉製油所
（完成イメージ）

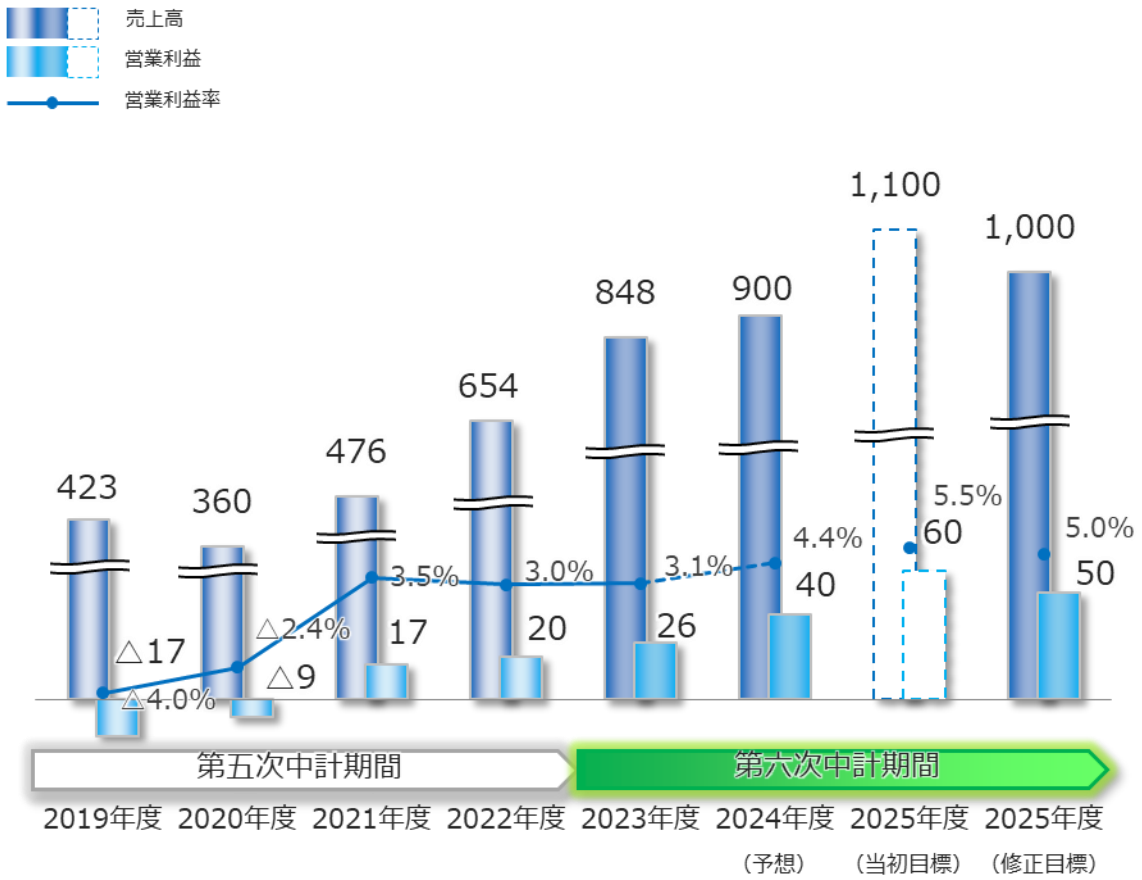
© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

3．セグメント別業績（車載用リチウムイオン電池）

車載用リチウムイオン電池

売上高・営業利益・利益率

（億円）



今後の取り組み

- **[HEV]**
  - 原材料高騰やインフレなど状況に応じた売価見直し
  - 生産能力に合わせた設備の安定稼働と歩留り改善
- **[PHEV／ESS]**
  生産能力拡大による需要対応
- **[BEV]**
  2027年度工場稼働開始に向けた準備

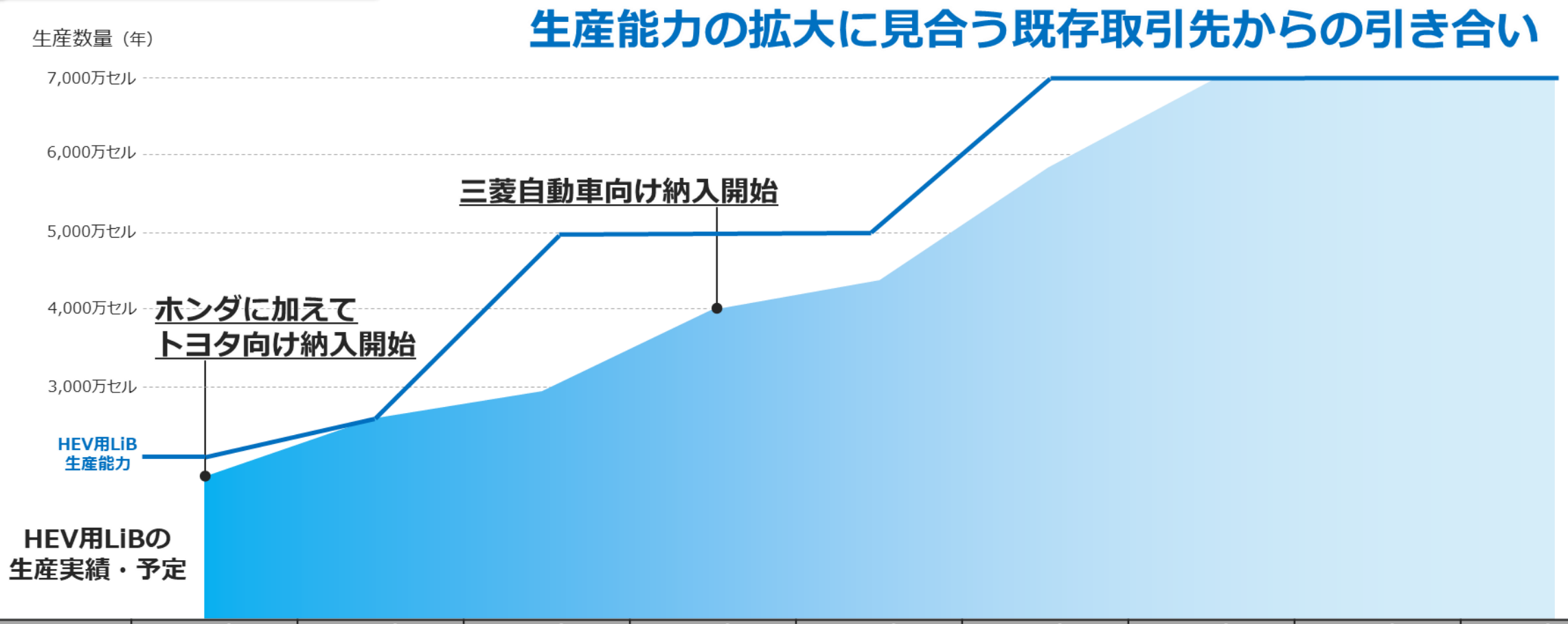
SWOT分析

強み	・日系自動車メーカーとの関係 ・BEC／LEJの高い稼働	弱み	・中韓メーカーと比べた規模 ・生産拠点の国内集中
機会	・日系自動車メーカーのHEV拡大 ・BEV電池の需要拡大	脅威	・原材料の安定調達への懸念 ・法規制　・海外勢のシェア独占

© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

3．セグメント別業績（車載用リチウムイオン電池）

HEVの戦略



	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度～
生産能力（年）	2,000万セル	⇒	5,000万セル	⇒	⇒	7,000万セル	⇒	⇒	⇒

© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

3．セグメント別業績（車載用リチウムイオン電池）

BEVの戦略

Honda・GS Yuasa
EV Battery R&D
ＧＳユアサ
持分法適用会社

IP（知的財産権）の許諾

ロイヤリティ

電池生産工場

GS YUASA グループ

ＧＳユアサ連結子会社

・ブルーエナジー（滋賀県守山市）
（2027年度稼働開始、生産能力：**20GWh超／年**（2035年度））

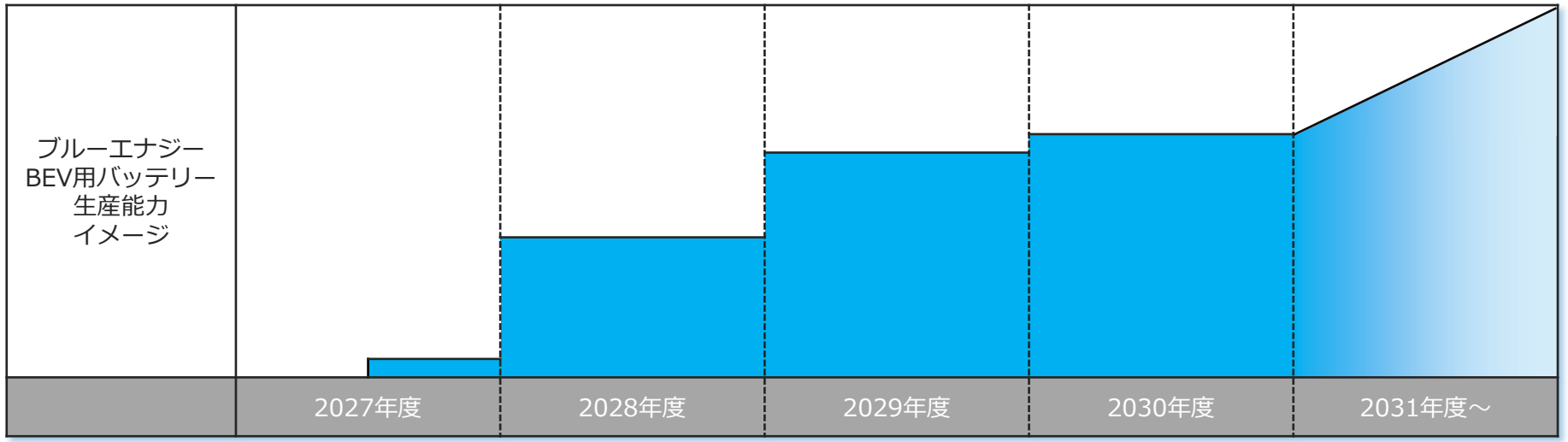
HONDA・Honda Battery生産拠点

電池供給

<BEV・PHEV>
新車メーカー

<ESS>
ＧＳユアサなど

GS YUASA グループの生産能力イメージ



20GWh超／年
（2035年度）

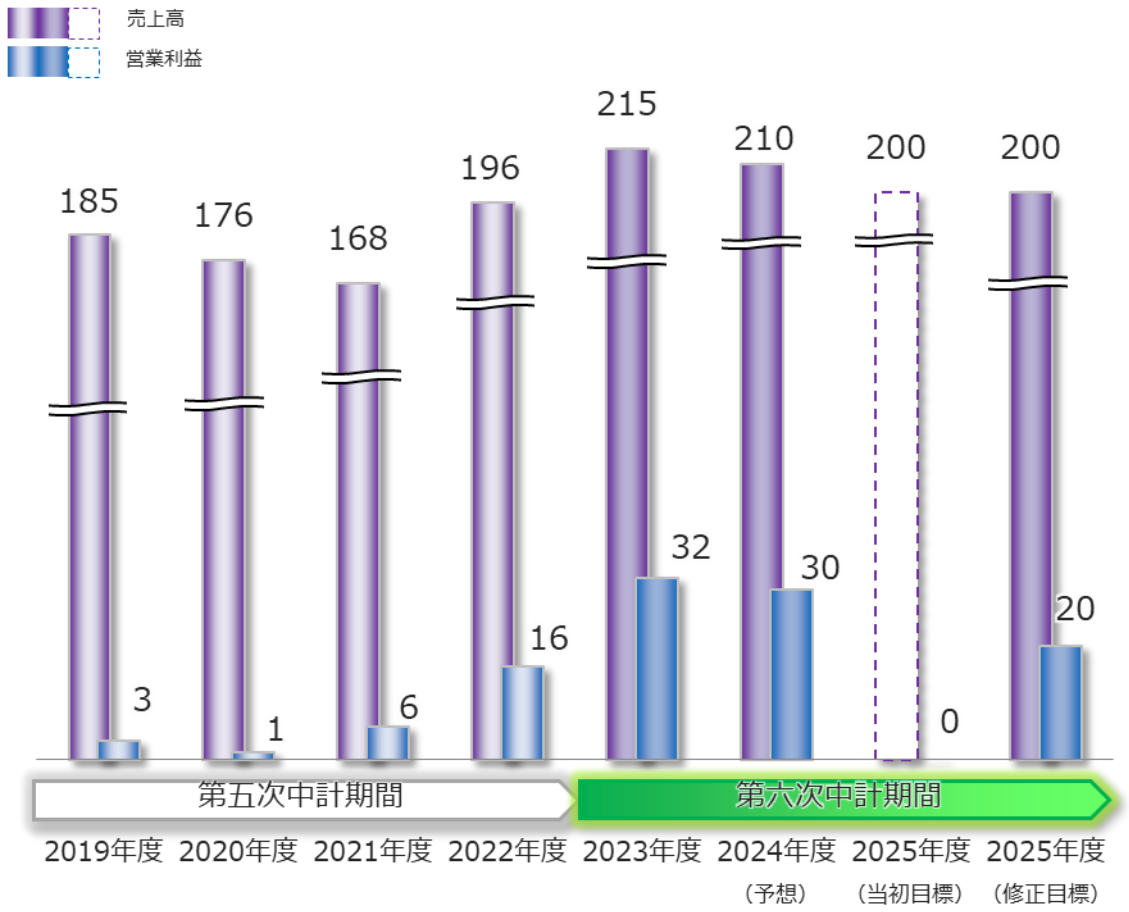
© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

3．セグメント別業績（特殊電池およびその他）

特殊電池およびその他

売上高・営業利益

（億円）



今後の取り組み

- **[潜水艦用リチウムイオン電池]**
  適正な利益確保と電池の交換需要に向けた準備
- **[その他特殊電池]**
  防衛力向上に向けた増産対応

SWOT分析

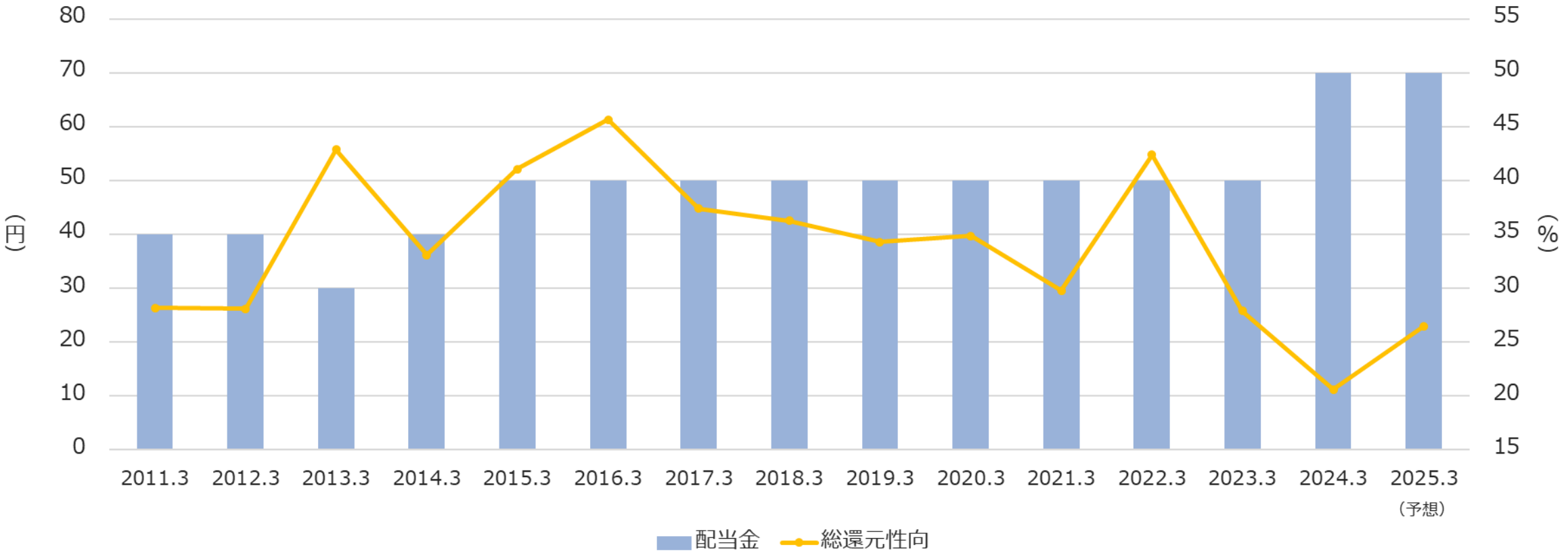
強み	・国内唯一の特殊電池メーカー ・高い技術力と信頼性	弱み	・デジタル化の遅れ ・設備老朽化
機会	・防衛装備移転三原則の策定 ・宇宙など新規市場の拡大	脅威	・開発難易度アップによるコスト高 ・社会的責任の増加

(注) 2023年度より、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「特殊電池およびその他」に変更しております。2022年度は、変更後のセグメントにより記載しております。

© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

4．株主還元

**当社は株主様に対する還元を経営における最重要課題と認識し、
第六次中期経営計画でも総還元性向（配当と自己株式による還元割合）30%以上を目標として設定し、
2023年度は20円増配の年間70円の配当を実施しました。
2024年度も年間70円の配当を予想しています。**



© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

5．サステナビリティへの取り組み（マテリアリティ）

	マテリアリティ	主な活動内容・目標
E	➢ Environment – エネルギー・デバイス・カンパニーとして持続可能な地球環境への貢献	
	➢ 環境配慮製品の開発と普及 ➢ 環境保護の推進	➢ CO_2排出量　**15%**以上削減（2018年度比） ➢ 水使用量　**15%**以上削減（2018年度比） ➢ 再生鉛使用率　**70%**以上 ➢ 環境配慮製品売上比率　**45%**以上
S	➢ Social – 人権の尊重と社会への貢献	
	➢ 人格の尊重 ➢ 多様性の尊重 ➢ 人材開発の推進 ➢ 労働環境・労働安全衛生の向上 ➢ 高品質な製品の提供 ➢ CSR調達の推進	➢ 人権教育の推進と人権リスク管理の徹底 ➢ ダイバーシティ&インクルージョンの推進 ➢ ワークライフバランスと健康経営の推進 ➢ 人材育成プログラムの推進 ➢ 労働安全衛生リスクマネジメントの推進 ➢ 製品安全管理の強化、品質改善や品質コミュニケーション強化の推進 ➢ 責任ある鉱物資源調達への対応とサプライチェーンにおけるCSRリスクの管理
G	➢ Governance – 公正、透明、迅速なグループ全体のガバナンスの推進	
	➢ CSR・コンプライアンスの徹底 ➢ 知的財産の保護 ➢ 機密情報管理の徹底	➢ コンプライアンス教育の推進と法令情報の周知・徹底 ➢ 特許侵害の回避徹底と模倣品の排除 ➢ セキュリティ対策の推進、情報セキュリティ教育の推進

© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

本資料は、当社グループの業績等についての一般的な情報提供を目的とするものです。
本書に含まれる予測、予想、計画その他の将来情報は、当社において利用可能な情報に基づく現時点における当社の認識又は判断に基づくものであり、実際の結果はこれらの情報と大きく異なることがあります。また、当社は、本資料に記載された情報に変更又は更新があった場合にも、その内容を提供又は開示する義務を負うものではありません。

Creating the Future of Energy

連絡先

株式会社 ジーエス･ユアサ コーポレーション
コーポレート室（広報）　青木 裕・西島 務・田中 祥太・神田 文
Tel：075-312-1214
https://www.gs-yuasa.com/jp

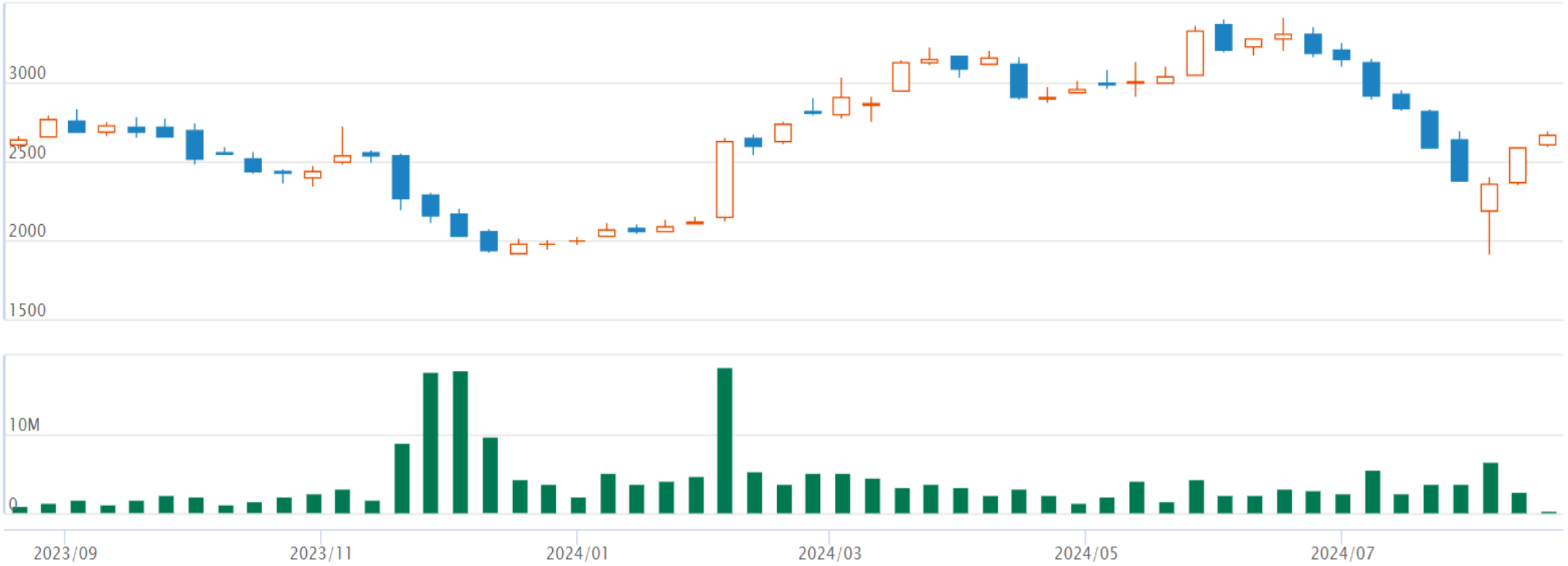
© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

【参考】情報発信（メルマガ）

株主・投資家情報サイトの「IRメール配信登録」から登録できます。
決算や説明会、ニュースリリースなど当社のIRに関する有益な情報を発信しています。

© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

【参考】株価推移



足元情報（8月16日現在）
終値 ：2,587.5円（+75、+2.99%）
始値：2,562.5円　高値：2,589円　安値：2,542.5円　前日終値：2,512.5円　出来高：644,700

© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

【参考】2024年度業績予想

（億円）

	2023年度 実績		2024年度 予想		増減		（前期比）	［参考］上期実績・予想（4-9月） 2023年度 上期実績		2024年度 上期予想	
売上高	5,629		**5,900**		+271		(+4.8%)	2,568		2,630	
営業利益（利益率）	416	7.4%	**440**	**7.5%**	+24	+0.1P	(+5.8%)	127	4.9%	130	4.9%
のれん等償却前営業利益（利益率）	422	7.5%	**445**	**7.5%**	+23	+0.0P		129	5.0%	-	
経常利益	440		**440**		+0		(+0.0%)	120		125	
親会社株主 当期純利益（利益率）	321	5.7%	**260**	**4.4%**	△61	△1.3P	(△18.9%)	60	2.3%	60	2.3%
のれん等償却前親会社株主 当期純利益（利益率）	326	5.8%	**265**	**4.5%**	△61	△1.3P		62	2.4%	-	
EPS（1株当たり当期純利益）	369.74 円		**259.21 円**		△110.53 円			74.06 円		59.82 円	
年間配当金（円／株）	70 円		**70 円（予定）**		±0 円			15 円（中間）		20 円（中間）	
総還元性向	20.6 %		**26.5 %**		+5.9 P			-		-	
ROE（自己資本当期純利益率）	11.6 %		**8.0 %**		△3.6 P			-		-	
ROIC（投下資本利益率）	13.7 %		**12.5 %**		△1.2 P			-		-	
国内鉛建値（万円／t）	37.34 万円／t		**37.2 万円／t**		△0.14 万円／t			36.84 万円／t		37.2 万円／t	
ＬＭＥ（US$／t）	2,121 US$／t		**2,200 US$／t**		+79 US$／t			2,144 US$／t		2,200 US$／t	
為替（円／US$）	145.31 円／US$		**145.00 円／US$**		△0.31 円／US$			142.61 円／US$		150.00 円／US$	

(注1) ROEおよび総還元性向は、のれん等償却前当期純利益に対するものです。
(注2) ROICは、のれん等償却前営業利益÷投下資本（固定資産（のれん等除く）＋運転資本）で算出。投下資本は期首と期末の平均値。

© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

【参考】2024年度 第1四半期実績

（億円）

		2023 年度 第1四半期（4-6月）		2024 年度 第1四半期（4-6月）		増減		（前期比）	［参考］2024 年度予想 上期（4-9月）		［参考］2024 年度予想 通期（4-3月）	
売上高		1,205		過去最高 **1,276**		+71		(+5.8%)	2,630		5,900	
売上総利益		258		**284**		+26			-		-	
営業利益（利益率）		48	4.0%	過去最高 **62**	**4.8%**	+14	+0.8P	(+27.9%)	130	4.9%	440	7.5%
のれん等償却前営業利益（利益率）		49	4.1%	過去最高 **64**	**5.0%**	+15	+0.9P		-		445	7.5%
営業外収益		17		**22**		+5			-		-	
営業外費用		16		**17**		+1			-		-	
うち持分法による投資損益（△は損失）		2		**8**		+6			-		-	
経常利益		49	4.1%	過去最高 **67**	**5.2%**	+18	+1.1P	(+35.5%)	125	4.8%	440	7.5%
特別利益		4		**0**		△4			-		-	
特別損失		7		**1**		△6			-		-	
税前四半期純利益		47		**67**		+20			-		-	
法人税等		15		**8**		△7			-		-	
非支配株主 四半期純利益		15		**11**		△4			-		-	
親会社株主 四半期純利益（利益率）		16	1.4%	過去最高 **48**	**3.8%**	+32	+2.4P	(+190.1%)	60	2.3%	260	4.4%
のれん等償却前親会社株主 四半期純利益（利益率）		17	1.4%	過去最高 **49**	**3.9%**	+32	+2.5P		-		265	4.5%
［参考］のれん等償却前営業利益（超インフレ会計適用前）（利益率）		-		**68**	**5.3%**	-			-		471	8.0%
EPS（1株当たり四半期純利益）		20.51 円		**47.71 円**		+27.2 円			59.82 円		259.21 円	
CF計算書関係	減価償却費	53		**58**		+5			-		-	
	のれん償却費	1		**1**		+0			-		-	
相場情報／前提条件	国内鉛建値（万円／t）	35.60 万円／t		**39.98 万円／t**		+4.38 万円／t			37.2 万円／t		37.2 万円／t	
	ＬＭＥ（US$／t）	2,118 US$／t		**2,166 US$／t**		+48 US$／t			2,200 US$／t		2,200 US$／t	
	為替（円／US$）	139.63 円／US$		**158.24 円／US$**		+18.61 円／US$			150.00 円／US$		145.00 円／US$	

（注）2024年度の通期予想における「超インフレ会計適用額」は23年度と同水準を営業利益に計上。

© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

【参考】2024年度業績予想（セグメント別）

（億円）

		2023 年度 実績		2024 年度 予想		増減	
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:P)
自動車電池	国内	940	81 (8.6)	**1,000**	**80 (8.0)**	+60	△1 (△0.6)
	海外	2,529	151 (6.0)	**2,590**	**165 (6.4)**	+61	+14 (+0.4)
産業電池電源		1,097	132 (12.0)	**1,200**	**130 (10.8)**	+103	△2 (△1.2)
車載用リチウムイオン電池		848	26 (3.1)	**900**	**40 (4.4)**	+52	+14 (+1.3)
特殊電池およびその他		215	32 (14.9)	**210**	**30 (14.3)**	△5	△2 (△0.6)
合計		5,629	422 (7.5)	**5,900**	**445 (7.5)**	+271	+23 (+0.0)

業績予想の前提（4-3月）

- 原材料の高騰、インフレ影響により売上高は増加するものの、転嫁は限定的と想定
- 自動車生産はハイブリッド車需要の拡大もあり増加を想定
- 鉛価格動向はLMEは安定的に推移も、円安影響を受けて国内鉛建値は高止まり
- 為替は円安基調が継続を想定

<前提条件>	2023 年度 実績	2024 年度 予想	増減
国内鉛建値（万円／t）	37.34	**37.20**	△0.14
ＬＭＥ（US$／t）	2,121	**2,200**	+79
為替（円／US$）	145.31	**145.00**	△0.31

(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.

【参考】2024年度 第1四半期実績（セグメント別）

（億円）

		2023年度 第1四半期（4-6月）		2024年度 第1四半期（4-6月）		増減		［参考］2024年度 第1四半期（4-6月）（超インフレ会計適用前）		［参考］2024年度予想 通期（4-3月）	
		売上高	営業利益（利益率:%）	売上高	営業利益（利益率:%）	売上高	営業利益（利益率:P）	売上高	営業利益（利益率:%）	売上高	営業利益（利益率:%）
自動車電池	国内	196	10 (5.2)	**208**	**16 (7.8)**	+12	+6 (+2.6)	208	16 (7.8)	1,000	80 (8.0)
	海外	584	28 (4.7)	**652**	**48 (7.4)**	+68	+20 (+2.7)	652	52 (8.0)	2,590	165 (6.4)
産業電池電源		179	2 (0.8)	**195**	**9 (4.8)**	+16	+7 (+4.0)	195	9 (4.8)	1,200	130 (10.8)
車載用リチウムイオン電池		195	4 (2.2)	**161**	**△20 (△12.6)**	△34	△24 (△14.8)	161	△20 (△12.6)	900	40 (4.4)
特殊電池およびその他		52	6 (10.9)	**60**	**10 (16.9)**	+8	+4 (+6.0)	60	10 (16.9)	210	30 (14.3)
合計		1,205	49 (4.1)	**1,276**	**64 (5.0)**	+71	+15 (+0.9)	1,276	68 (5.3)	5,900	445 (7.5)

24年度 第1四半期実績

- 自動車電池・産業電池電源事業を中心に売価転嫁の効果により売上高は増加
- 自動車生産は新車メーカーの操業停止などにより若干減少
- 車載用リチウムイオン電池はリチウム市況下落による売価低下、PHEV向け数量減により減少
- 鉛価格動向はLMEは安定的に推移するも、円安影響を受けて国内鉛建値は高止まり
- 為替は円安基調が継続も為替介入・利上げ観測などにより不透明な状況

<相場情報／前提条件>	2023年度（4-6月）	2024年度（4-6月）	増減	［参考］2024年度予想 通期（4-3月）
国内鉛建値（万円／t）	35.60	**39.98**	+4.38	37.2
LME（US$／t）	2,118	**2,166**	+48	2,200
為替（円／US$）	139.63	**158.24**	+18.61	145.00

(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

© 2024 GS Yuasa International Ltd. All Rights Reserved.